

中国四国地区 生物系三学会合同大会 2025 年度 愛媛大会 参加報告

フィールド科学系部門 生物科学班 内田慎治

1. はじめに（目的等）

中国四国地区 生物系三学会合同大会は、動物学会、植物学会、生態学会の大学及び研究機関等の生物学の研究分野に携わる教員、学生などが口頭発表やポスター発表で日ごろの研究成果を発表する場である。また、高校生によるポスター発表もあり、主に開催地の高校生が大学での研究に触れ合える身近な場でもある。大会ごとにテーマに沿って公開シンポジウムも開催される。

2. 期間・場所

期間：令和 7 年 5 月 17-18 日

場所：愛媛大学（愛媛県松山市）

3. 参加者等

約 300 名程度

4. 大会内容

1 日目

- ・役員会（中国四国植物学会）
- ・ポスター発表：動物学会 15，植物学会 22，生態学会 26，高校生 49
- ・シンポジウム「生命が辿った 5 億年：動物と植物の進化過程の解明をめざして」

2 日目

- ・口頭発表：動物学会 19，植物学会 8，生態学会 7
- ・総会（中国四国植物学会）

5. まとめと感想

今回は共同研究として名前の入っている「アラカシの堅果落下量の年変化に関する基礎研究—広島県宮島の例—」や「広島大学東広島キャンパスにおける自然共生サイトの再生に関する基礎研究（予報）」の発表もあり、研究の成果を聞く良い機会となった。また、その他、興味深い研究発表を聞くことができ有意義な大会参加となった。